

会議結果報告書

- 1 会議の名称
令和6年度第2回柳井市立図書館協議会会議
- 2 開催日時
令和7年3月23日（日）10時～12時00分
- 3 開催場所
みどりが丘図書館スタジオ2
- 4 出席者
10名（欠席 0名）
- 5 公開・非公開の別
公開（傍聴人 0人）
- 6 会議の議事録（要旨）
 - （1）開会
 - （2）柳井図書館長あいさつ
 - （3）協議事項
 - （1）みどりが丘図書館の運用状況について
（事務局）
みどりが丘図書館の運用について説明

（委員）
意見は特になし
 - （2）図書館サポーター制度の運用状況について
（事務局）
図書館サポーターの運用状況について説明

（委員）
意見は特になし

(3) イベントの開催状況について

(事務局)

イベントの開催状況について説明

(委員)

意見は特になし

(4) その他について

(事務局)

開館後の問題点等について説明

(会長)

図書館周辺の駐車場は、何台ぐらい増えるのか？

(事務局)

図書館周辺の駐車場は、弓道場が完成し、駐輪場整備完了後に12台程度増える予定。

駐輪場については、西側入口付近に屋根付き駐輪場を約70台、東側のトイレ付近の三角形部分と階段下の駐車場部分にも駐輪場を設置する予定。

(会長)

他に、図書館から説明があったことやそれ以外でも、何か意見があれば発言をお願いする。

(委員)

館内の明るさについて、高齢になると物が見えにくくなる。館内の窓が明るいため、書架の分類の文字や数字が見えにくい。

近くに寄れば見えるが、遠くからは分かりにくいと思う。

また、本を探す場合、探しにくい。ギャラリースペースがあるため、配置として仕方がない部分はあると思うが。

できたら、書架に大きく分類番号の何番台というような表示ができないか。

あと、書架の本の間に何番台というプレートがあるが文字が小さく、本に埋もれている場合がある。これは仕方ないと思うが。

児童エリアの書架についてもプレートが漢字表記でふりがなが小さいため、本が探しにくい。

他の図書館では、文字を大きく子どもの興味を引くような表示をしている。

できたら、分かりやすくなるような工夫をしてもらえないだろうか。

(事務局)

明るさについては、これまでも検討し、改善した上で現在に至っている。今ぐらいの明るさが落ち着いていて丁度いいという声も多くいただいている。一方で委員と同じご意見の方もいらっしゃるので、その方々には貸出用のライトスタンドで対応している。貸出用ライトスタンドについては、まだ十分に周知できていない部分もあると思うのでこれからも周知を図っていききたい。

本を探しにくいという部分については、館内検索機（OPAC）で本を検索したときに、探している本の書架の位置を表示するように改善している。

また、内部でも定期的に課題点等の協議を行っており、書架の表示についても分かりやすくするよう改善を行っている

今後も、このような意見をいただいたことを内部で共有して、皆様が利用しやすい図書館となるようにして参りたい。

(委員)

開館当初は、2階の学習室がかなり賑やかで、声の大きさが気になったが、今は改善され静かになっていると思う。

あと、子どもトイレについて、存在を知らない人もいないかと思うので子どもトイレを利用しやすいようにPRしてほしい。

あと、図書館の補助金事業について結果報告をお願いしたい。

(事務局)

館内の音の問題については、開館が夏休み前だったということもあり、開館当初は館内がかなり騒がしかったと思う。

この問題に対しては、職員が見回りを行い、館内で騒がしくしている方には注意喚起し対応してきた。

子どもトイレについては、周知不足の部分もあると思うので、図書館の施設や利用方法について利用者の方に再認識してもらうことも含めて、周知を図り利用しやすい図書館を目指していきたい。

補助金事業については、6月に募集を行い、1件の交付決定となっている。

(会長)

施設の周知については、閲覧席ごとに表示するような方法もあると思うので参考にさせていただきたい。

(委員)

インスタでのイベントの周知について、ボランティアによる読み聞かせの周知を行っていただきたい。

また、インスタへの投稿の時期について、図書館では1か月後のイベントについての周知を投稿していただいているが、おはなし会については、2団体で毎月交互に開催しており、投稿のタイミングが、その月に行う団体ではなく翌月に行う団体の情報であったりするので、できればおはなし会の1週間前に再度投稿していただくなど、投稿のタイミングを調整していただきたい。

また、他のイベントでも、応募が少ない場合などには再度の投稿などインスタでの周知の頻度について検討していただきたい。

(事務局)

読み聞かせサポーターの活動方法については、サポーターの皆さんと協議していきたい。また、周知についてもインスタの活用方法や頻度について考えていきたい。

(委員)

サポーターの読み聞かせについて、現在、図書館主催で行っているおはなし会のボランティア団体の中に入って、その中で活動できるようにはできないか。

(委員)

私は読み聞かせのボランティア団体に加入している。ボランティア団体に参加していただくのはありがたいが、毎月図書館主催で開催しているおはなし会については、内容(テーマ)を決めて、事前に読む本を選んで準備し、プログラムを組んで取り組んでいるため、急に参加していただくのは難しいと思う。

あと、読み聞かせサポーターについては、毎月開催しているおはなし会では足りない部分の補填という意味合いがあると思うので、逆に読み聞かせサポーターによる活動に人員が足りないときに団体のメンバーが協力することならできると思う。

(委員)

読み聞かせサポーター以外がおはなしのへやで読み聞かせを行うことはできないのか。

(事務局)

定期的な活動には参加できないけど読み聞かせを行いたい気持ちがある方には、まずサポーター登録をしていただきたい。ボランティア保険の関係があるため、事前に連絡をいただいて、いつでも自由に活動を行っていただけるような体制が取れば一番いいのではないかと思います。

(会長)

サポーター活動の内容の中に読み聞かせサポーターを入れた理由は、図書館に来館

している子供たちにいつでも読み聞かせをしてあげることができたらいいのではないかという趣旨で入れている。

昨年度は結果として当番制となったが、7年度の活動の方法はサポーターの皆さんで協議されるとのことなので、活動方法について検討していただきたい。

(委員)

私は大畠で読み聞かせをしているが、大畠の読み聞かせボランティアも高齢化しているため、読み聞かせに関心がある方は、ぜひ参加してもらって、今後も活動を継続していきたい。

(委員)

読み聞かせのPRについて、玄関を利用し、当日にはチラシを掲示したらいいのではないと思う。広報誌など事前の周知も必要だが、来館された方に当日のイベントが分かるようにしたほうがいいと思う。

(事務局)

図書館主催の行事の情報は、現在でも入口付近に掲示しており、また当日の食事可能となるスタジオなどの情報は掲示している。

サポーターの読み聞かせについても、今後改善し、来館者への十分な周知を行ってきたい。

(会長)

この施設は、複合施設なので図書館のイベントだけではなく、その日に開催されるスタジオ利用のお知らせについて掲示したらいいのではないか。

(事務局)

館内のデジタルサイネージには、その日のスケジュールを掲示している。

ただ、デジタルサイネージは、案内表示が時間で変わるため、タイミングによって見ることができない可能性がある。

また、来館者が入場できるイベントであればお知らせすべきと思うが、会議など一般の方への周知が必要無いものもあると思う。貸室の場合には、判断が難しいケースもあり、公平性の観点からどのように掲示するべきか検討していきたい。

(会長)

一般の方に関係がない会議であっても、会議の当事者が場所を確認できたりするので、掲示するのは問題ないように思う。

(事務局)

また精査して検討していきたい。

(委員)

館内のデジタルサイネージについて、本日のスタジオ利用案内など、内容については問題ないと思うが、デジタルサイネージの位置について、カウンターの横に置いてあるため、ゆっくり見ることができない。

もう少し、ゆっくり見ることができる場所に移動できないか。場所の移動ができないのであれば、サイネージの向きを玄関側に変えることはできないか。

(事務局)

サイネージについては、どの向きがいいか検討してみる。

(委員)

スタジオ1の使用方法について、市民活動団体用のロッカーを使用することがあり、入口の鍵が開いていたり閉まっていたりすることがある。いろいろな機械があるため鍵は閉めておいた方がいいと思うが、一人職員がスタジオ1に常駐してくれていたらいいと思う。

また、スタジオ2の照明について、前方の照明とスポットライトが同系列の回線になっているため、スポットライトとしての使用ができない。可能であれば回線を分けていただきたい。

(事務局)

スタジオ2の照明については検討する。

(委員)

中学校の生徒が図書館を利用する場合のルールについて、授業が終わったら一旦家に帰り、着替えてから図書館に行かなくてはならないということがあるみたいだが。

(事務局)

それは寄り道をしてはいけないということだと思う。図書館も他の場所と同様に考えられているのだと思う。

(会長)

バスの部活動便の図書館利用については始まっているのか？

(事務局)

部活動便の利用については開始しているものの、現在のところ利用状況は無しとなっている。

(会長)

部活動便のため、常にバスが循環しているわけではないので、実際の運用は難しいのではないかと思います。

(委員)

カウンターに司書と市民活動センターの相談員が配置されているが、スタジオの利用申請と重なって市民活動センターの団体の相談受付がカウンターで溜まる時が見受けられる。

また、当初、カレンダーに3・6・9の付く日については、市民活動センターが市民活動の日としてスタジオを利用するようにしていたが、協議の結果、7年度からは、月の中で市民活動の日を10日と20日の2回とするように変更する。先ほどの委員の指摘で、スタジオ1に職員を常駐させたら、市民活動の日としてスタジオを使用しなくてもいいのではないかと思います。

(事務局)

このことについては、地域づくり推進課に委員から意見があったことを報告する。
また、先ほどのスタジオ1の鍵については原則閉めるようになっている。

(会長)

開館以来、うれしいことだが、現在、中高生の学習利用が多くなっている。

しかしながら、マナーの面で気になる部分があり、一般の利用者が利用しづらい環境になることもあるのではないかと思います。

そろそろ、みどりが丘図書館の最低限のルールを設けるべき時期が来ているのではないかと思います。

(委員)

私は、学生がテスト期間中においても図書館を利用することはある。

一般の閲覧席や2階の学習室も学生で満杯となっているが、私はそれでいいと思うし、学生たちにはどんどん利用してもらっていいと思う。

なので、時期的に学生が多い土日などはできるだけ図書館の利用を控えるようにしている。

あと、スタジオ6（静寂読書室）は学習用の部屋ではないため、本を読みたいときは静寂読書室を利用している。

マナーを守ることの大事さを教えることは必要だと思うが、あまり学生達を規制し

たくない。時期についてもテスト期間中や夏休みなど一時期だと思うので。

(委員)

学生の利用は大歓迎だが、声の音量が問題だと思う。声のうるさが気になる。
あくまでも図書館の中であるということは配慮してもらいたい。

(委員)

2階には職員がいないので、カウンターに職員若しくはサポーターなど、大人がいれば学生たちの抑止力になるのではないかな。

(委員)

会長の考えるマナーとはどのようなものか聞いてみたい。

(会長)

学生たちが、カフェエリアや視聴覚ブースでも学習したりするケースがある。図書館は社会ルールを学ぶ場でもある。来館者が気持ちよく図書館を利用するためには、この場所では学習してはいけないというような最低限のルールを設けるべきではないかと思う。

また、現在のところ、学生が一日中その席を独占しているケースも見受けられ、午後から利用したい学生が利用できないことも出てくる可能性がある。今後、そのような学生達から利用できないといった意見が出始めたら、午前と午後で入れ替えを行うなどみんなが利用できるような方法を検討しないといけなくなるのではないかと思う。

(委員)

カフェエリアで学習するようなケースでは注意すべきだと思うが、そのことについては、その都度、個別に図書館職員が注意するようにしたらいいのではないかな。

あと、学生の入替についてだが、朝からずっと学習している学生もいると思うので入替の必要はないと思う。

(会長)

このことについては、今すぐの対応を求めているのではなく、今後、そのような要望が出た場合のことである。

(事務局)

他の図書館では、学習スペースと閲覧スペースを分けている館が多いと思う。

このみどりが丘図書館では、学習スペースと閲覧スペースを区別していないので、1階の閲覧席でも学習可能としている。

声の問題については、現在も図書館職員が巡回し対応を行っており、かなりの頻度で注意している。カフェエリアでの学習についても、何も買わずに学習する学生がいたりしたため、カフェエリアの利用についての説明を行ったり、スタジオが空いていたら開放して移動をお願いするといった対応を行っている。

また、カフェエリアの利用については、テナントのフジヤマコーヒーさんとも協議を行っている。

図書館として、スペースに限りがあるため限界はあるものの、その日に空いているスタジオは開放している。また昼食用のスタジオも用意するよう対応している。

現在のところ、席の予約制については検討していない。しばらくの間、館内の様子を注視していきたい。

基本的には、ご来館いただく皆さんが利用しやすい環境を作っていきたいと思っているので、図書館として館内の見廻りの頻度を多くするよう対応していきたい。

(委員)

利用者が多いことでの悩みなのでありがたいと思う。

(会長)

みんなが気持ちよく利用できる図書館を目指して運営していただきたいと思う。

スタジオ2については、飲食用の部屋としての開放であれば学習できないので、飲食以外にも学習用として開放すればいいのではないかな。

(事務局)

その日のスタジオの空き状況を確認して、他の小さいスタジオが空いていればそちらを食食用とし、スタジオ2を学習用として開放するなどの対策をしている。

(会長)

開館前は、館内に食事場所が無いことが問題だったが、開館後は、図書館で食事場所の確保について対応していただいております、要望に応じていただいていることについて感謝している。

(会長)

他に意見がないようなので、協議を終了し事務局に戻す。

以上